

## 味は舌だけで感じる ものではない

色が良くついたものほど甘味が強く味も濃いと言われるリンゴ。真っ赤なリンゴと色薄なリンゴであれば、当然、迷うことなく真っ赤で美味しい方を選ぶことは言ってもいいだろう。赤いリンゴを見ると口の中の糖度が1度増すと言われるほどリンゴの見た目というのはとても重要である。

リンゴの長い歴史の中に外観が赤くて美麗であったことから高値で売れた「むつ」の存在がある。もともと黄色品種として作られていた「むつ」は、一度見捨てられた存在でありながらも外観の着色によって再評価されたのだ。葉とらず栽培が注目されているものの、赤いリンゴの引き合いが依然と強く、贈答需要が右肩上がりの現在、収穫前の管理が農業所得増大の鍵を握ると言っても過言ではないはずだ。

今回は着色に関与する要因を挙げ、赤色系品種の着色管理を再確認したい。

## 光・糖・温度が 着色の決め手

果実が着色するためには、光と糖と温度の存在が基本条件である。果実が着色するためには光が必要であり、アントシアニンの発現がないと果実は着色しない。光のよく当たる果実は着色良好であるとともに糖含量が高い。また、果実内の糖含量が多いものほど着色良好である。これは光と比例的で、樹冠内によく光の入る樹は葉でつくられる同化養分が多くなるため、果実内の糖分の蓄積も多くなると考えられる。温度については、赤い色素のアントシアニンは10〜20℃という比較的低温でよく生成され、温度は低い方が着色に有利である。

## 着色手入れ

リンゴの出来栄は着色手入れがよく行われたかどうかに大きく左右される。それぞれの作業の進め方にスポットを当ててみよう。

# 見て美味しい 食べて美味しいリンゴ ただ食べるだけなら必要のない手間を あえて掛ける

## 特集

赤くて美味しいリンゴを収穫するために重要な鍵を握る着色手入れ。着色管理はリンゴ栽培において農業所得を左右すると言っても過言ではない。味だけでなく見た目も良くすることで商品価値を高め、消費者の購買意欲向上へと導く。真っ赤に染まる宝石は人々を魅了する。



適期

# 着色管理 収穫

で農業所得向上

## 徒長枝整理

6月頃から新しく伸びた枝により、樹の中に日光が入りづらくなることから、不要な徒長枝（ハヤ）を剪去する。樹の内部や下まで日光を行き届かせることによって、赤く美味しいリンゴが収穫可能となる。夏季剪定では骨格枝から発生する徒長枝を剪去することが一般的で、側枝の背面や側枝の切り



切り戻し部の徒長枝

## 支柱入れ

戻し部の周辺に発生した徒長枝を剪去する。

葉や果実の重さで枝が下がり、重なりを少なくするため1樹あたり5〜10本くらいの支柱を入れる。支柱入れを行なうことによって枝が折れないように支えるほか、下の方に成っているリンゴにも十分に日光が当たるようになる。枝と枝が上下に重ならないように適度な間隔を保って日光をまんべんなく入れることが大切である。

## 枝吊り

枝を多くつけている場合は日陰が多くなることから果実の着色が

劣るので紐を使って空間を作り、

日光と風通しを良くする。過度に枝を剪去すると樹勢にも影響が懸念されることから、枝吊りも重要な役割を果たす。樹冠と根のバランスも考慮して着色管理に取り組むことも大切である。また、枝吊りは資材コストを低減できるほか、地面に障害がなくなることから草刈り作業などで邪魔にならない。

## つるまわし

陽光面だけでなく、反対側の陰光面にも光を当てるために実をまわす。この作業によって果実全体に色が着くようになるので着色管理の最終段階に欠かせない作業である。晴れた日の早朝は、リンゴ自体の温度が低いことから日中の高温障害であるヤケを防ぐため、朝早くの作業や気温の高い日はなるべく避けることが大切。また、長時間の直射日光は避け、陰になっていた部分は北側か太陽の沈む方向に向ける。

## 葉摘み

果実に光を多く当て、着色をよくするために果実に日陰をつくる

葉を摘み取る。葉の各部位によって働く期間の長さが異なることから、摘み取る時期にも気を付けよう。リンゴのツル元にある葉は、8月下旬頃に働きの役目を終えることから9月下旬まではリンゴのツル元の葉を摘み取るだけに留めることで良品質生産に結び付く。副梢葉については9月下旬から10月上旬にかけて働きを終えるので、それぞれの部位の葉の働きが終わる時期に合わせて葉摘み作業を行うことが重要だ。

## 反射資材

樹の内部の果実や個々の果実の着色向上のため、地上に反射シートやタイベックを活用し、効率的に樹冠の光環境改善をする。日射量を増大させるだけでなく、果実全体の生育を促進することにも繋がる。葉の養分で十分に味をのせる葉とらず栽培については反射資材の活用は着色管理の重要な役割を果たす。

(参考) リンゴ栽培技術)

## 支柱入れて空間をつくる

before



after



支柱入れて上下に重なる枝に適度な間隔を保つ